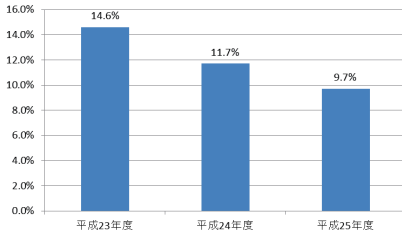


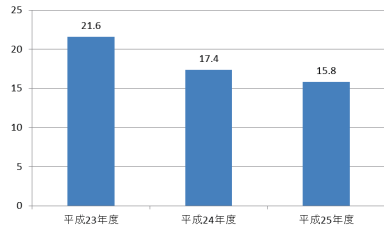
気分の落ち込みや不安に関して
支援が必要と考えられる人の割合



測定尺度: K 6^{*1}

気分の落ち込みや不安に関する
6項目に0～4点で回答
合計13点以上で、気分障害や
不安障害の可能性を疑う

被災で生じた「トラウマ反応」に関して
支援が必要と考えられる人の割合



測定尺度: PCL^{*2}

被災体験に対して、時々起こ
る問題や訴え(トラウマ反
応)に関する17項目に1～5
点で回答
44点以上で、PTSDの可能性
を疑う

第11、15、19回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

- ・ K 6^{*1}は、平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と比較して低下しているものの、依然高い値を示しました。
- ・ 性別では、男性より女性のほうが高い値を示し、年齢別では 70 代以上で高く、10 代では低い傾向があり、これらの傾向は平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と同様でした。
- ・ PCL^{*2}は、平成 23 年度調査及び、平成 24 年度調査と比較して低下しているものの、依然高い値を示しました。

※ 1 : K 6 = 気分の落ち込みや不安の程度を測る尺度 (≒ものさし)
気分の落ち込みや不安に関する 6 項目 (例: 「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」等) について、それぞれ過去 30 日間にどれくらいの頻度であったかを回答していただきました。この項目は 16 歳以上を対象に実施。この項目によって気分障害や、不安障害の可能性について、日常生活に支障を来すレベルかどうかを判定しました。

※ 2 : PCL = トラウマ反応を測る尺度 (≒ものさし)
被災の体験に対して時々起こる問題や訴え(トラウマ反応)に関する 17 項目(例: 「そのストレス体験の、こころをかき乱すような記憶、考え、イメージ(光景等)を繰り返し思い出す」「そのストレス体験の、こころをかき乱すような夢を繰り返し見る」等) について、それぞれ過去 30 日間にどれくらいあったかを回答していただきました。この項目によって、トラウマ反応の強さについて判定しました。

本資料への収録日: 平成 27 年 3 月 31 日

改訂日: 平成 28 年 3 月 31 日